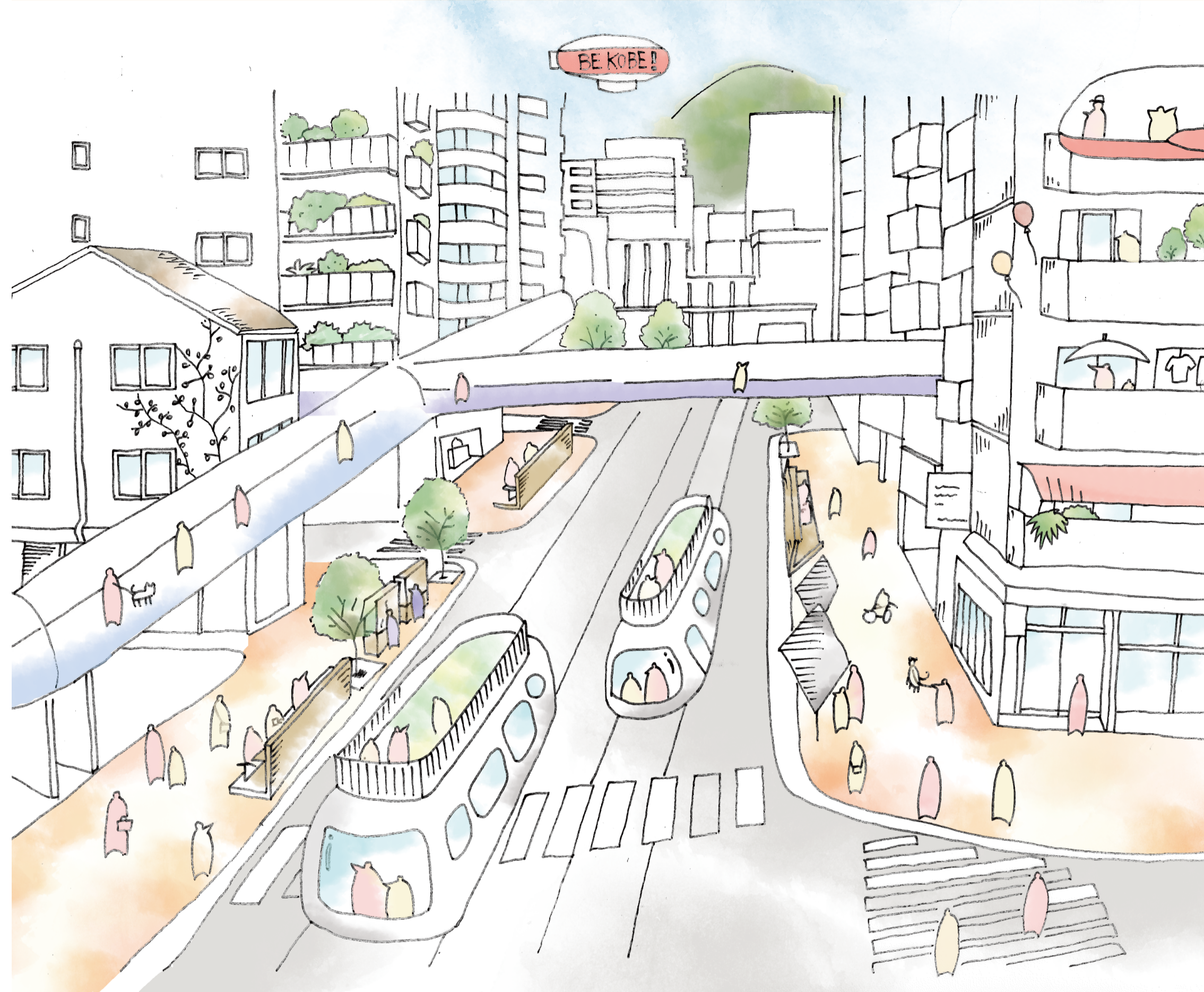


# \\ LRT がつなぐ、にぎわい軸 //



まちづくりコンセプト

## 心が動けば、まちは動く

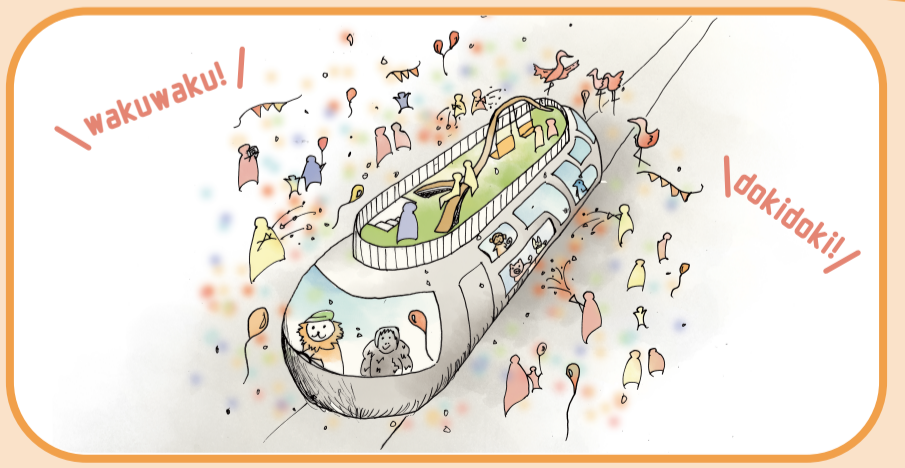
— LRT が描くアートラインとにぎわい創出 —

- まちづくりの4つの仕掛け -

- 1 まちをつなぐ —モビリティデザイン—
- 2 歩いて楽しい —パブリックスペース—
- 3 地域の憩いの場 —アートパーク—
- 4 記憶を継承 —彫刻プロムナード—

私たちが日々通る「ミュージアムロード」は、少しだけアートの気配があって、忙しく人が通る、“普通の通学路”です。神戸の街らしく、坂道が続き、美術館まで少し遠い。この道が「もっとわくわくして、歩くことが楽しい道」になれば、そんな想いで計画しました。提案の核となる仕掛けは「LRT(Light Rail Transit)」です。このモビリティが、高低差のある街をより円滑に繋ぎ、乗って楽しい・観て楽しい起爆剤として、ミュージアムロードの未来をのせて走ります。

わたしたちが提案する LRT は “ つなぐ美術館 ” です!!



この LRT は、坂の街・神戸を南北につなぐ地域の足として、人々の暮らしを支える存在を目指す。同時に、動くアートとして芸術を特別なものではなく、日常に溶け込む身近な存在として届ける。乗って移動すること自体がアート体験となり、誰もが自然に芸術を感じられる。観て楽しく、乗って心が動き、地域と地域、人と人をやさしくつなぐこの LRT は、まちの新たな顔として、ミュージアムロードを象徴する存在へと育っていく。また、沿線に広がる風景や文化と呼吸しながら走ることで、日常の移動そのものが、まちを再発見する時間となる。

## 01. 坂の街神戸でだれもが使いやすい

神戸に住まう人間として、坂道は避けて通れない。このミュージアムロードでも、激坂とまではいかないがゆるやかな坂でつながっている。美術館・動物園に行くまでのアプローチ空間がもっと楽しい道を目指し、だれもが乗り降りしやすい完全低床型車両を導入することで、訪れる観光客・地元民の満足度も上がるのではないかな。LRTは導入促進について、持続可能なまちづくりに大きく寄与するものとして財政支援を行っており、2023年には宇都宮LRTが開通し大ヒットしている。このLRTが将来的に摩耶ビューラインまで開通すれば、観光資源としてもっと活躍するのではないかな。

## 02. パブリックスペースを居場所に

-Key Point 1 (Kobe Parklet Street) -  
 現在この通り(灘駅前線)は、コンビニ・飲食店・病院などさまざまな店舗が入り混じっている。ミュージアムロードの中では一番人が多く往来するゾーンであるが、人が留まる場所はない。例えば、飲食店で買ったものを外で食べたり、食べ歩きができれば、観光はどれほど楽しくなるだろう。神戸パークレットを導入し、走行するLRTを眺めながら、美術館からの帰り道の小話ができたら楽しいのではないかな。そこに、地元アーティストが小物売りの屋台がたっていたら、ここはもうミュージアムロードの一番のにぎわい空間になるだろう。

## 03. 地域の人々が愛するアート公園へ

-Key Point 2 (Community Art Park) -  
 プレイスメイキングをする上で、地域が積極的に関われる仕組みがあることが成功のきっかけとなる。「アートはみるもの」ではなく、「アートは触れても楽しいもの」になれば、人が関わる余白ができる。この地域は震災後の復興で建てられた集合住宅が建ち、美術館へ向かう人にとっては最後のロードである。ここに、地域の人々が普段使いできる・観光客も寄り道できる「公園」という余白があれば、新しい「場」が創れるのではないかな。例えば、アート遊具があれば、子どもたちがアートと共存できる新しい場が生まれる。

## 04. 命の記憶をつなぐプロムナード

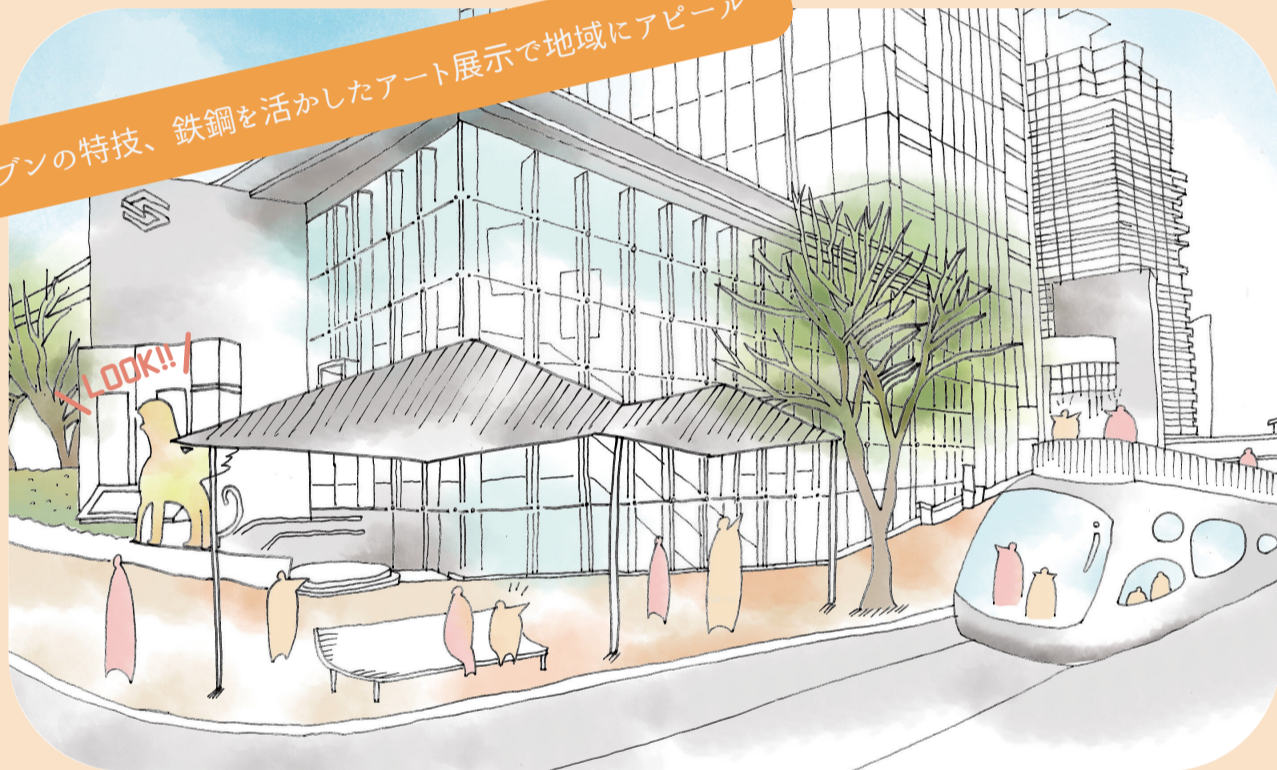
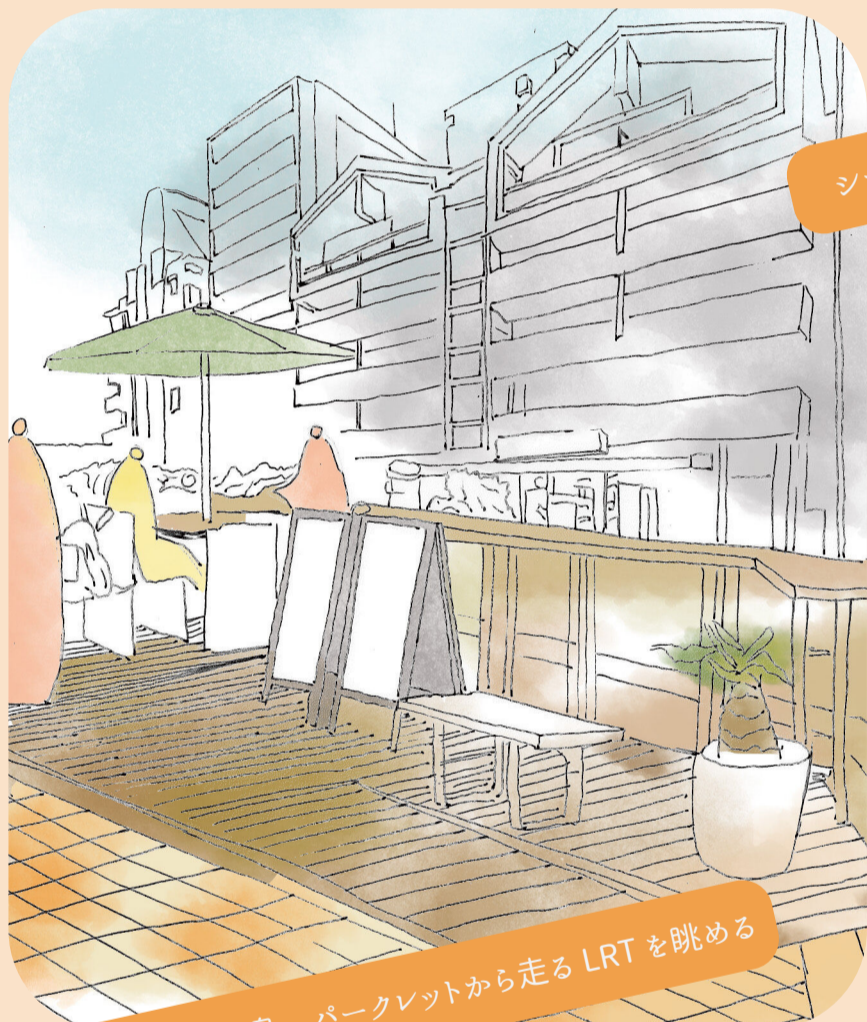
-Key Point 3 (Life Memory Promenade) -  
 この通りは灘駅から王子動物園までの最後の通りである。現状は動物園との関わりを感じづらく、手前の住宅街と動物園との空間のグラデーションがないと感じた。そこでこれまで王子動物園が向き合ってきた命を彫刻アートという形でこの通りに展示してはどうか。王子動物園を訪れる人は入る前に動物園がこれまで向き合ってきた命について感じ、知ることができ、今現在動物園が向き合っている命をこれから見に行くんだというわくわくを感じる。それと同時に地域の人と動物園との繋がりを深め、地域性を色濃くしてゆくだろう。



LRTに乗ってまちの風景を楽しみ、観て新たな絵画の一コマとなる



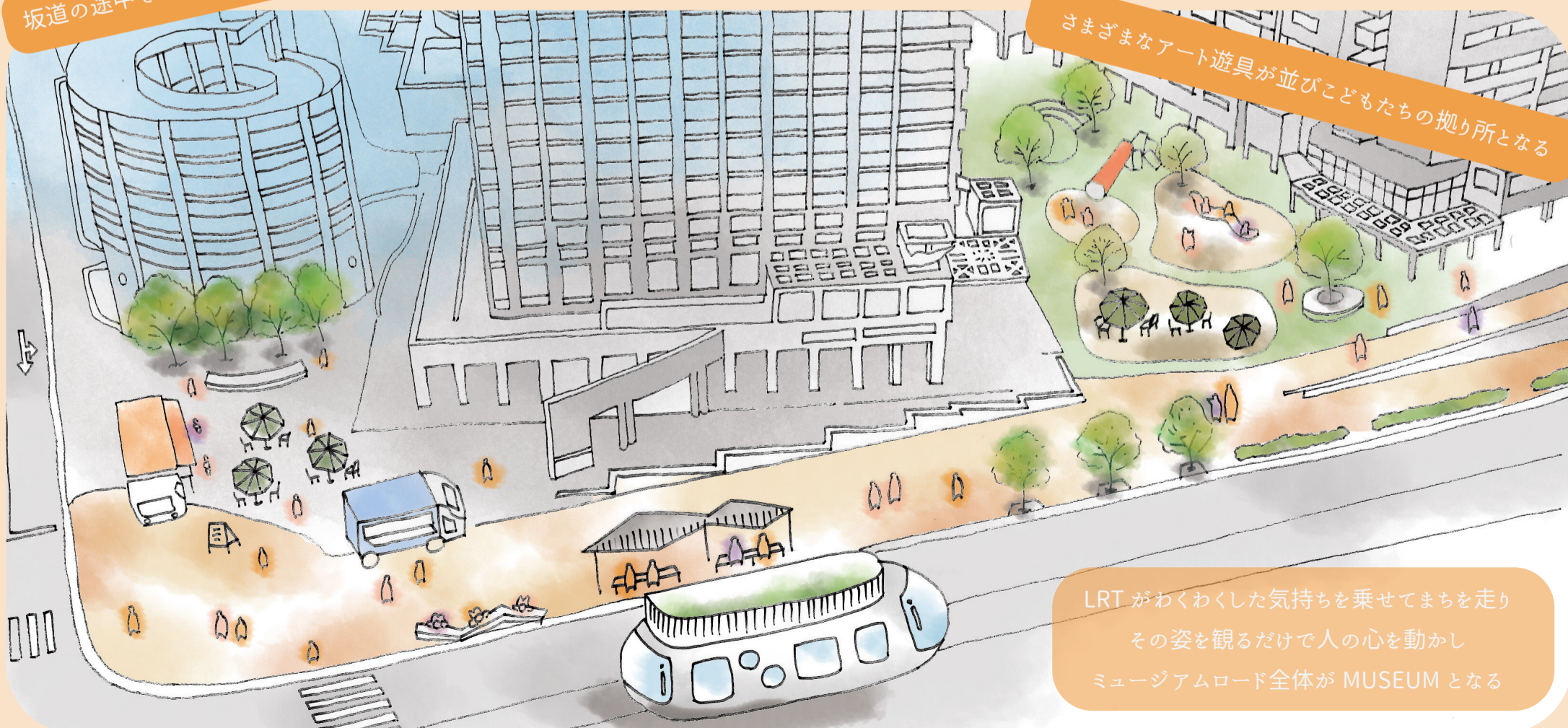
シマブンの特技、鉄鋼を活かしたアート展示で地域にアピール



—参考資料—

- ・参議院常任委員会調査室・特別調査室 環境先進都市ストラスパール —LRTを軸とした交通まちづくり—
- ・国土交通省 LRTの整備に対する支援
- ・プレイスメイキング・ハンドブック パブリックスペースを魅力的に変える方法 学芸出版社
- ・木彫彫刻家 はしもとみお ホームページ より
- ・Artist 久保寛子 SNS 参照

坂道の途中で一息、パークレットから走るLRTを眺める



さまざまなアート遊具が並びこどもたちの遊び場となる

LRTがわくわくした気持ちに乗せてまちを走り  
その姿を観るだけで人の心を動かし  
ミュージアムロード全体が MUSEUM となる